

【資料3. コップ・ストローの練習】

カップ・ストローの練習

スプーンから順番に進めていくと飲み物が上手に飲めます。また、お口をうまく使ってご飯も上手に食べられるようになります。

スプーンやカップを持ってあげるなど大人がサポートしましょう。

① スプーン

大人用のスプーン
を真横にする



下唇の中央に
のせる

上唇が閉じて、
するのを待つ

上手に飲めない時は、大人が見本になりまねをさせましょう

② 子どもの口の幅くらいの容器

唇で容器の縁を
はませる



すするのを待つ

一度すすったら、
容器を口から離す

容器の例: おちょこ、ペットボトルのキャップなど
飲み口の内周が小さいもの

③ 子ども用のカップ

小さめのカップに
少量の飲み物をい
れる



唇でコップの縁を
はませる

あごが上がらない
ように少しづつ
コップを傾け、
すすらせる

唇が閉じたタイミングで口から離す

☆ ストロー

ストローフきマグと一般的なストローでは飲む時の口の使い
方が違います。唇が閉じるようになると深くくわえることが
できます。



マグ: 深くくわえる

ストロー: 浅くくわえる